

令和4年度 Uスマート推進協議会新規プロジェクト公募 企画提案書

| | | |
|-----|------------------------|----------------|
| 分野 | 安全・安心 / 経済 / 教育・文化 ※選択 | |
| 事業名 | ●●プロジェクト | |
| 提出者 | 団体名 | 株式会社 Uスマート |
| | 代表者名 | 宇都宮 みやり |
| 連絡先 | 担当部署 | Uスマート推進部 |
| | 担当者名 | 宇都宮 はび |
| | 住所 | 宇都宮市宮みらい2022-2 |
| | 電話 | 0123-456-789 |
| | メール | U-sma@mirai.jp |

※複数事業者による提案の場合は、代表団体の情報を記載してください。

1. 基本的事項

記載例

1-1. 事業名

※プロジェクトの名称を記載

●●プロジェクト

1-2. 代表団体

※事業実施を中心的に担う事業者について記載
(その他の参画事業者については【5. 実施体制】に記載)

| | |
|--------|---|
| 団体名 | 株式会社 Uスマート |
| 住所 | 宇都宮市宮みらい2022-2 |
| ホームページ | https://www.u-sma.co.jp |

1-3. 事業実施エリア

※プロジェクトを行うエリアについて、必要に応じて地図・写真等を添付

・宇都宮市内の●●, ●●, ●●の
●●周辺

実施エリアの地図

2. 目指す姿

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ペー

記載例

2-1. 解決を目指す地域課題

■解決を目指す地域課題

- ・宇都宮市は比較的災害が少ない地域として知られているが、●●台風においては・・・といった被害が発生しており、災害発生時における●●についての課題が存在する
- ・●●には●●といった対応が必要となるが、迅速な●●のためには●●による対応が不可欠
- ・現在、●●の部分に対応できておらず、今後●●が発生した際に迅速な対応が困難

統計データ

イメージ図

2. 目指す姿

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ペー

記載例

2-2. 地域課題の解決手法と成果

■ 地域課題の解決手法と成果（将来的なビジネスモデル，利用者，利用料金等）

- ・●●の課題の解決に向け，●●による●●の自動化と●●を組み合わせることにより，●●を実現する。
- ・これにより，従来の取組と比べて●●が可能となるため，●●につなげる。
- ・新たに生まれる●●サービスを利用する●●からのサービス利用料（概ね●●円程度を想定）と●●からの●●により運営するビジネスモデルを想定。

サービスのイメージ

ビジネスモデルの
イメージ

3. プロジェクトの内容

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ペー

記載例

○令和4年度に実施するプロジェクトの取組内容

- ・●●について検証するため、宇都宮市内の●●, ●●, ●●に●●を●●台設置し, ●●に関するデータを収集するとともに, ●●のデータと組み合わせ, ●●に関する効果を検証する。
- ・上記とあわせて, ●●について検証するため, 利用者として想定される●●に対して●●を行い, ●●や●●の効果・妥当性について検証する。

取組のイメージ

機器のイメージ

○活用する先進技術やデータ

- ・自動で●●を行う●●機器
- ・●●で取得する●●データ

○収集するデータの内容と協議会等に共有する範囲(対象)

- ・●●を通じて収集する●●のデータについては, ●●を除き, 協議会や宇都宮市役所と共有する。

4. 効果の検証・評価

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ページ

記載例

4-1. 効果検証内容

| | ①KPIとする検証項目 (どのようなデータ・情報を収集するか) | ②検証の観点 (どのような課題・現状理解に基づいているか) | ③KPIの目標値 (これから何を目指すか) |
|---|------------------------------------|--|--------------------------------|
| A | ・●●に要する作業時間 | ・現在●●により●●を行うことにより●●の負担が生じていることから、●●を自動化することにより作業時間の短縮を目指す。 ■現在の作業時間: ●●分程度 | 【令和5年3月末時点】 ・作業時間●●%削減 |
| B | ・●●の質の向上 | ・従来の手法では●●に限界があり、●●は行えていないが、●●を導入することにより新たに●●や●●を可能とすることによる●●の質の向上を目指す | 【令和5年3月末時点】 ・●●の実現(追加) |
| C | ・●●の予測精度 | ・●●については●●となっており、あらかじめ●●することが困難となっているが、●●と●●を組み合わせることによる●●について高精度の予測を可能とする。 ■現在の予測精度: ●●% | 【令和5年3月末時点】 ・●●の予測精度(●●%以上) |

※地域課題の解決に資する取組かどうかを評価可能であり、プロジェクト開始時と終了後で比較可能なKPI(①)を設定してください。また、現状の課題(②)については、可能な範囲で定量的なデータも記載してください。

4. 効果の検証・評価

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ページ

記載例

4-2. 効果検証方法

| | ①KPIとする検証項目 (どのようなデータ・情報を収集するか) | ④検証の方法 (どのようにデータ・情報の収集や比較分析を行うか) |
|---|------------------------------------|---|
| A | ・●●に要する作業時間 | ・●●を測定することにより現在の作業時間を算出 ・本プロジェクトで●●を導入し, ●●により作業時間を算出 ・両者を比較し, 作業時間の変化を比較 |
| B | ・●●の質の向上 | ・●●を導入し, ●●と同時に●●を行うとともに, ●●や●●に係る運用フローの変化や●●に要する時間等を計測 ・上記と利用者の●●を把握し, ●●の質の向上に資するかどうかを検証 |
| C | ・●●の予測精度 | ・●●と●●を組み合わせることによる●●について予測 ・同時に●●について実際の数値を計測 ・両者を比較し, ●●の予測精度(妥当性)について検証 |

※定性・定量の各側面から情報収集や比較分析を行う場合は, その取組が分かるように記載してください。
また, 検証における工夫点等についても記載してください。

6

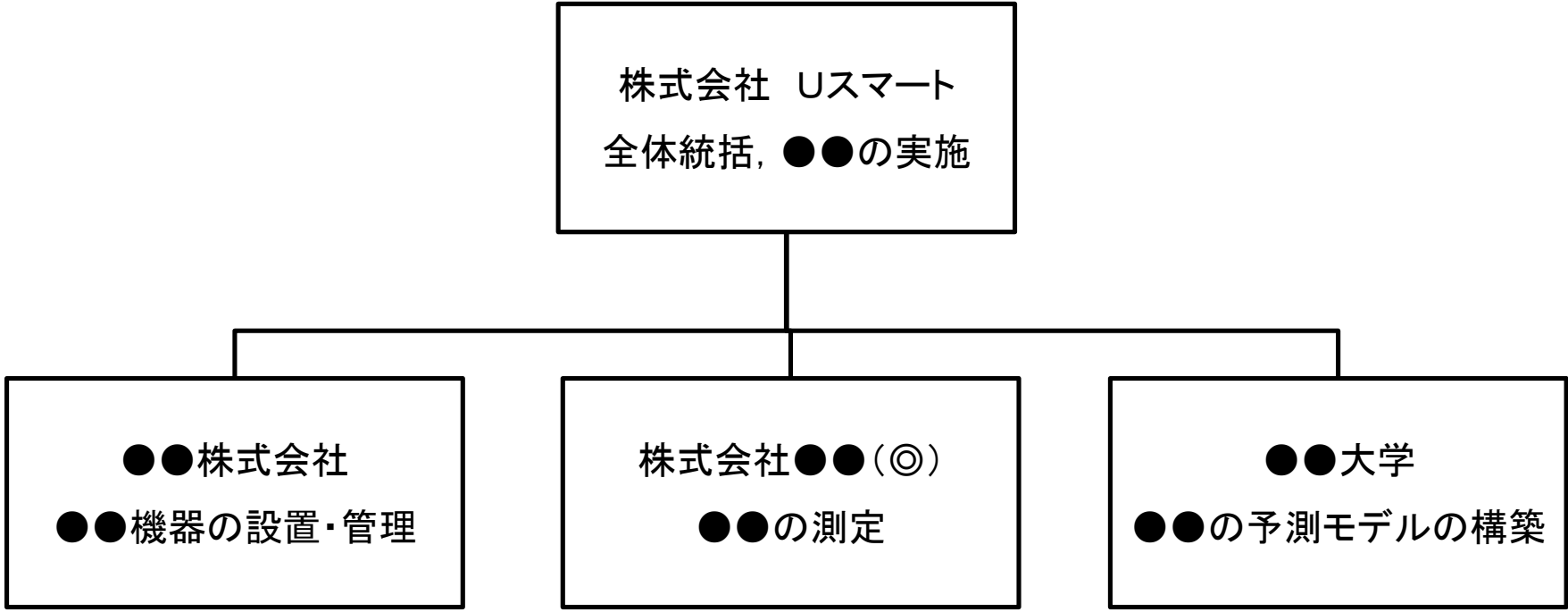
5. 実施体制・役割分担

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ページ

記載例

■体制図

※プロジェクトの全体管理を担当する企業・団体を明示してください。



※宇都宮市に本社・本部機能がある場合は◎を付記

■その他, 体制図に記載している企業・団体以外で, 調整の必要がある関係機関等(該当する場合のみ)

| 関係機関等の名称 | 必要な調整内容 | 調整の状況・見込み |
|----------|---------|------------------------|
| 栃木県 | ●●に係る許可 | ●●について相談した結果, ●●といった回答 |
| | | |
| | | |

6. スケジュール

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ページ

記載例

| | 令和4年 | | | | | | 令和5年 | | |
|-------------|------|----|----|-----|-----|-----|------|----|----|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 取組①: 準備・調整 | | | | | | | | | |
| ■ ●●設置場所検討 | | | | | | | | | |
| ■ ●●許可取得 | | | | | | | | | |
| ■ ●●構築 | | | | | | | | | |
| 取組②: 実施 | | | | | | | | | |
| ■ ●●設置・運営 | | | | | | | | | |
| ■ ●●の取得 | | | | | | | | | |
| ■ ●●の実施, 測定 | | | | | | | | | |
| 取組③: 検証 | | | | | | | | | |
| ■ ●●の分析 | | | | | | | | | |
| ■ ●●の評価 | | | | | | | | | |
| ■ ●●の検証 | | | | | | | | | |

報告書提出



7. 事業費

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ページ

記載例

7-1. 総事業費

※令和4年度のプロジェクトに要する費用総額の概算を記載してください。

●●,●●●,●●●円(税込)

7-2. 内訳

※記載方法は自由ですが、「人件費」・「外注費(※体制図に記載した企業・団体以外への支払)」については、内容・支払先を明記

■費用

| 費目 | 額(税込) | 支払先等 |
|----------------|--------------|------------------|
| ●●のリース, 設置, 運営 | ●, ●●●, ●●●円 | メーカー(●●), ●●株式会社 |
| ●●の測定 | ●, ●●●, ●●●円 | 株式会社●● |
| ●●の実施 | ●, ●●●, ●●●円 | 株式会社Uスマート |
| ●●の分析・評価 | ●, ●●●, ●●●円 | ●●大学, 株式会社Uスマート |
| | | |
| | | |

■負担者 ※各負担者の負担額の総額は総事業費と一致

| | |
|-------------------|-----------------|
| (株式会社Uスマート) ●●●●円 | (●●株式会社)●●●●円 |
| (株式会社●●)●●●●円 | (Uスマート交付金)●●●●円 |

※国等補助金の活用予定がある場合は、補助金名、補助率等を記載してください。

8. 実装までのロードマップ

※記入欄が足りない場合は、「2. 目指す姿のロードマップ」までの各項目につき1ペー

記載例

○令和5年度

- ・令和4年度の実証実験の成果を踏まえ、●●による●●の自動化と●●を組み合わせた新たな●●サービスについて、具体的な利用条件や利用料金等を決定
- ・●●月頃を目途に●●を実装主体として社会実装（提供開始）
- ・初年度の利用者●●を目標に展開（翌年度以降、年間●●%増を目指す）

○令和6年度以降

- ・●●, ●●, ●●などの新たな機能・サービスの追加
- ・●●への展開

工程表や取組のイメージ等